2020 東京五輪まで あと324日

近代オリンピックの歴史

山梨のオリンピアン 11

1984年ロサンゼルス大会 競泳

輿水 秀香

（甲府市）

ロサンゼルス五輪で泳ぐ輿水秀香選手 ＝米・南カルフォルニアスプール（1984年、本人提供）

スタート台に立る時、興奥選手は、「自分に勝つ」と自分に言い聞かせていた。「自分に勝てれば、金メダルは獲れる」と思っていた。輿水選手は、ロサンゼルス五輪の競泳100メートル自由形、200メートル自由形、400メートル自由形、4×100メートルメドレー、4×200メートルフリーリレーの5種目に出場した。

1984年ロサンゼルスオリンピックは、ソ連を中心とした共産圏諸国がボイコットした。ソ連は、ロサンゼルスオリンピックの前年、1983年に開催された第1回ワールドカップ（世界選手権）で、輿水選手の100メートル自由形、200メートル自由形、400メートル自由形、4×100メートルメドレーの4種目で世界新記録を出していた。

ロサンゼルスオリンピックの前年、1983年に開催された第1回ワールドカップ（世界選手権）で、輿水選手の100メートル自由形、200メートル自由形、400メートル自由形、4×100メートルメドレーの4種目で世界新記録を出していた。

ロサンゼルスオリンピックの前年、1983年に開催された第1回ワールドカップ（世界選手権）で、輿水選手の100メートル自由形、200メートル自由形、400メートル自由形、4×100メートルメドレーの4種目で世界新記録を出していた。

一番の楽しみ

家のプールを使ってスイミングスクールを開いていた。水泳部のない高校に入ったが、水泳部のない高校に入ったが、水泳部のない高校に入ったが、